

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年5月31日

1 事業名	栄養改善事業	コード	3103
-------	--------	-----	------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 赤羽 恵実
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	保健・医療の推進	施 策	健康づくりの推進
		予算科目	栄養改善事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	健康増進法 食育基本法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	市民が食に関する様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、生涯に渡り健康で心豊かな生活を送ることができるよう、各種栄養講座や栄養相談、食育推進研修会等を実施し、食育の推進に努めた。		
目的	対象者	岡谷市民	
	意 図	・市民の望ましい食習慣の定着と、食育への関心を高める	

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
おいしくたのしくおこや食育プラン推進事業			
1 各種栄養講座、栄養相談			
・おいしく食べてヘルスアップ教室 4回 延べ参加者 44人			
・食と健康のミニ講座（低栄養予防）8回 延べ参加者 87人			
・出前講座等 31回 延べ参加者 848人			
・イベント等を通じた栄養相談 8回 延べ参加者 74人			
2 諏訪地域食育フォーラム（食育推進研修会）			
「信州諏訪の食でつながる、人づくり・地域づくり」			
期日：令和元年6月22日（土） 参加者 120人			
場所：イルプラザ3階カルチャーセンター 第1,2多目的ホール、調理実習室			
内容：講演会「知って得する！おもしろ食文化」講師：駒ヶ根グリーンホテル顧問 山越 信治氏			
事例発表「ほくもわたしもおこやっ子事業」			
食育活動展示、地域食材を使った給食レシピの試食			
3 食育の周知啓発			
・ホームページを活用した食育情報の発信 毎月1回（19日の食育の日に発信）			
・もっと野菜を食べよう！運動の推進			
野菜レシピの配布（各支所、直売所、農業祭等） 20箇所			
ホームページを活用した野菜レシピの掲載等			
4 食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援			
・岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等 32回 延べ参加者 350人			
・食育に関わる関係団体等と連携して諏訪地域食育フォーラム（食育推進研修会）を開催し、食育に関する知識を深めるとともに、食育の周知啓発に努めた。			
・生活習慣病と低栄養予防が混在する世代を対象とした栄養指導用リーフレットを作成し、講座等を通じて情報提供を行った。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	開催回数			単位	回
	実績値	128	101	96	
	*指標の説明	市民を対象とした栄養相談、講座、展示を実施した回数			
② 成果指標（指標名）	参加者合計人数			単位	人
	目標値	1,965	1,383	1,742	1,523
	実績値	1,383	1,742	1,523	
	達成度	70.4%	126.0%	87.4%	
	*指標の説明	栄養講座、栄養相談の参加者数の合計			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	449,699	564,757	327,389	550,000
経常経費	449,699	564,757	327,389	550,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	17,360,000	17,360,000	17,360,000	17,200,000
正規職員の人数(人)	2.17	2.17	2.17	2.15
③ 合計コスト(①+②)	17,809,699	17,924,757	17,687,389	17,750,000
前年度比		100.6%	98.7%	100.4%
財源				
一般財源	17,809,699	17,924,757	17,687,389	17,750,000
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	139,138	177,473	184,244	
前年度比		127.6%	103.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 87.4%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 87.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養講座に参加する人は高齢者が多く、若い世代の参加者は少ない状況。講座への参加が難しい世代に対し、効果的な食育情報の発信等が必要。 ・地域における食育活動が継続的にいえるよう、食育に携わる関係者の実情に応じた支援が必要。
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報おかやなどの広報媒体等を活用し、ライフステージに応じた食育情報を発信する。 ・食育活動に携わる関係者が、研修会等を通じて食育活動に役立つ情報の共有等により、連携した活動が行えるよう支援に努める。
改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---